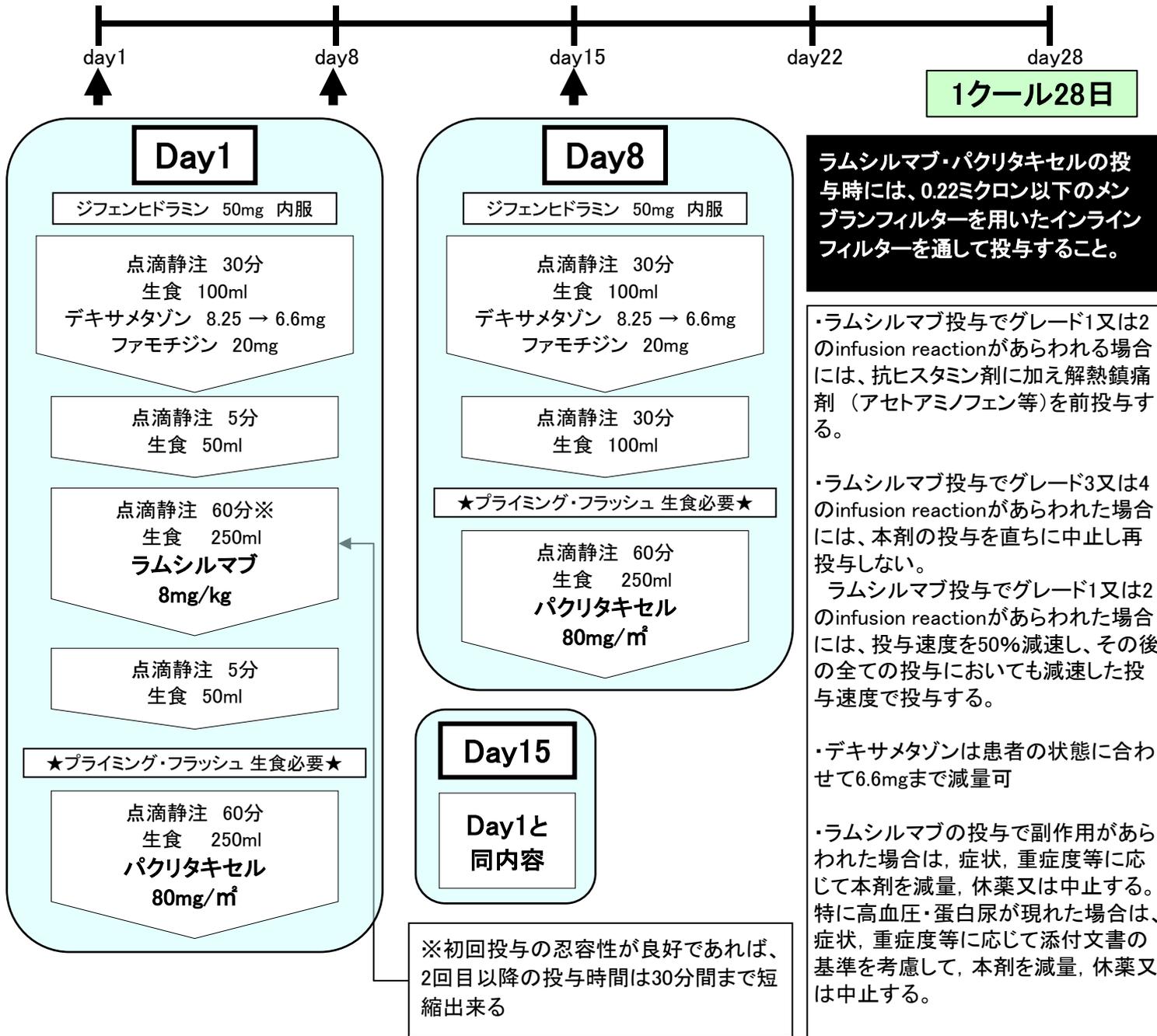


がん化学療法個人計画書

患者の状態により輸液の内容・量及び投与速度を変更する場合があります。

| | | |
|------|----------------|----------------|
| 科名 | 適応がん種 | レジメン名 |
| | 治癒切除不能な進行・再発胃癌 | ラムシルマブ+パクリタキセル |
| 投与予定 | 休薬を含めて1クール | 28日 施行可能な限り |



ラムシルマブ・パクリタキセルの投与時には、0.22ミクロン以下のメンブランフィルターを用いたインラインフィルターを通して投与すること。

- ・ラムシルマブ投与でグレード1又は2のinfusion reactionがあらわれる場合には、抗ヒスタミン剤に加え解熱鎮痛剤（アセトアミノフェン等）を前投与する。
- ・ラムシルマブ投与でグレード3又は4のinfusion reactionがあらわれた場合には、本剤の投与を直ちに中止し再投与しない。
ラムシルマブ投与でグレード1又は2のinfusion reactionがあらわれた場合には、投与速度を50%減速し、その後の全ての投与においても減速した投与速度で投与する。
- ・デキサメタゾンは患者の状態に合わせて6.6mgまで減量可
- ・ラムシルマブの投与で副作用があらわれた場合は、症状、重症度等に応じて本剤を減量、休薬又は中止する。特に高血圧・蛋白尿が現れた場合は、症状、重症度等に応じて添付文書の基準を考慮して、本剤を減量、休薬又は中止する。

| 薬品名 | 申請投与量 | 計算量 | 実際の投与量 | 薬価最小組み合わせ |
|----------------|----------------------|---------------|---------|----------------------------|
| パクリタキセル | 80 mg/m ² | #REF! mg/body | mg/body | 内 30mg 0mg 訳 100mg 0mg |
| ラムシルマブ | 8 mg/kg | #REF! mg/body | mg/body | 内 100mg 0mg 訳 500mg 0mg |

| 併用内服薬 | 用量(1日量) | 用法 | 投与期間 |
|-----------|---------|--|-----------|
| ジフェンヒドラミン | 50mg | day1・15:ラムシルマブ投与30分前までに内服 day8:パクリタキセル投与30分前までに内服 | day1、8、15 |

| | |
|----|--|
| 備考 | |
|----|--|